

平成 29 年度
自己評価・学校関係者評価（島田南幼稚園）

教育目標	こころおおきくなあれ 個性を伸ばし感性を豊かに育む 挨拶や感謝の気持ちを感じ表現できる、基本的な生活習慣を身に付ける（人間形成の基礎）
------	---

※自己評価は 4 段階評定 自己総合評価及び学校関係者評価は ABC 評価にて評定

1. 教育目標について

評価項目	自己評価	自己総合評価	学校関係者評価	
			評価	評価理由
教育目標を理解し子ども達に指導することができた。	3	B	A	当園の具体的な目標の一つである、挨拶に対する指導は、全員が意識し取組む姿勢が確認された。また、子ども達一人一人の基本的な習慣に対する意識も高く評価できます。今後は、更に目標理解に努め個性豊かな人格形成に努めることを望みます。
子ども達が元気に挨拶が出来るようあらゆる場面で指導した。	4			
明るく元気な子どもの育成に努めた。	4			
子ども達一人一人の特徴を観察し尊重することができた。	3			
毎日の活動で社会的な生活習慣を身に付ける為の指導は十分に行った。	3			

2. 教育計画について

指導計画作成にあたり、子どもの成長状況を把握し配慮している。	3	C	B	教育計画に際し、過去の計画に依存する傾向が伺えます。新しい要望に応えるよう、教育内容を吟味し、適切な内容構築に努めることが望まれます。多くの経験が与えられる内容を引き続き行い、子ども達の成長状況を見極めた計画を期待します。
指導計画作成には、園の教育方針が生かされている。	3			
指導計画の内容は、過去の計画に左右されず現実にマッチしている。	3			
指導計画には、教育内容に対する自身の考えを十分盛り込んで作成した。	3			
行事等の計画とその運営は適切であった。	3			
計画の変更は、状況により随時行えるよう順応性を考慮している。	3			

3. 教育活動について

子ども達に多くの体験をさせる為の工夫は十分に行った。	3	C	B	子ども達の自主性に配慮した指導に丁寧さを感じられ、発達状況を見極めてるように見えます。一方で、体験重視の活動内容にやや新しさが失われつつあります。また、その準備に不安が伺えます。指導内容を精査し、効果的な活動に期待します。
生活習慣の指導について、一人一人を観察し対応している。	3			
子どもの自主性に配慮し、押付の指導は行わない。	3			
子ども達の発達状況を把握している。	3			
子ども達が興味をもてるような活動内容を常に考え実践している。	3			
教育効果を高める為の事前準備は万全である。	3			

4. 保健・安全について

子どもの視診は、登園時及び降園時に必ず行っている。	3	B	A	基本的な生活習慣に対する指導は、各所で行われていることで、一定の成果があります。安全管理の点で施設は良好ですが、更に安全管理を充実させる為、職員間の連携についてマニュアルを中心に再確認することを求めます。
危険回避の為に危険個所の把握に努めている。	3			
安全管理について、年齢に応じた言葉や方法で指導を行った。	3			
うがい・手洗い等の基本的な生活習慣の習慣化が図れた。	4			
万一に備え、事故発生時の対応を確認している。	3			
自らも体調管理には十分注意している。	4			

5. 学級経営について

子どもの気持ちを理解し十分に遊びに係わった。いっしょに遊んだ	3	B	B	各クラスの運営は、子ども達に配慮した活動が行われています。子ども達一人一人の行動を注意深く観察し理解に努めます。自らのクラスを大切にすることは好感が持てます。現状を維持しつつ、教師としての品格向上に心掛けることを望みます。
クラスをまとめ全員が仲良く楽しく生活できるよう工夫している。	3			
子どもの気持ちに十分配慮し個人を尊重した指導を行っている。	3			
子ども達とのスキンシップは、一人一人全員に十分行っている。	3			
子どもの話をしっかり聞くよう心がけ実行している。	4			
教師としての品格を心がけた言葉や態度で子ども達に接している。	3			

6. 研修について

研修には常に自らのテーマを持って積極的に参加している。	3	C	B	日々の活動を優先する為に、長期的な展望に立った教育内容習得の習慣がやや希薄になっているように感じます。あらゆる場面での技術習得に努め、教師としてのスキルアップに期待します。
研修に参加するのは楽しい。	3			
自らが進んで研修会を選択し参加することで自己研鑽に努めた。	2			
研修で得た内容が毎日の教育活動及び私生活に生かされた。	2			
今後研究したい課題やテーマがある。	2			

7. 保護者・地域との関りについて

子どもの成長について保護者との連携は十分に行っている。	3	B	B	保護者との関わりを丁寧に行おうとする状況は評価できます。子どもの様子を正確に伝えることで、保護者との連携を十分に行い、教育効果を高めるよう努めたい。地域との関わりは機会を捉え、可能な限り積極的に参加されたい。未就園児への活動は積極的に行われていることを評価する。
担当するクラスの保護者との意思の疎通が十分に図れている。	3			
保護者のクレーム・相談等には園を代表する意識で誠実に対応している。	3			
現在の園と地域との関りは十分だと思う。	2			
地域の主催する行事には積極的に参加している。	2			
「キッズ・くらぶ」の内容は保護者ニーズに即したものであった。	3			

8. その他

自らが求める教師像に向かって努力した。	3	B	B	教職員が子ども達の為に、日々教育活動を行なう姿に、一緒懸命さが伺えます。一方で、忙しさも見られ活動内容の見直しにやや不安を感じます。私生活を含めた教師としての自覚と責任を再度意識し、子ども達に求められる教職員であることを目標に、日々切磋琢磨することを望みます。
島田南学園（組織）の一員として協働することができた。	3			
私生活を含め常に教師としての自覚と責任を意識している。	3			
職務のマンネリ化防止に努めている。	3			
子どもに要求することは自らも実行している。	3			
備品・消耗品等の効率よい使用を考えて実行している。	3			

平成 30 年 3 月 15 日

当委員会は、提出された自己評価及び総合評価表等を基に 3 月 10 日評価を行い、上記の通り報告致します。

学校法人 島田南学園 学校関係者評価委員会
委員長 永岡 儀男

